

第4章 「三角関数」

18. 正接の加法定理

hm2-4-18

(pdf ファイル)



加法定理

2つの角 α と β の **和 $\alpha + \beta$ の三角関数** は、次のように、つねに、 α, β の三角関数で表すことができる。

特に重要なのは、次の4つである。

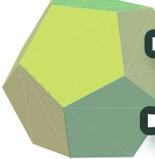
正弦と余弦の加法定理

$$\boxed{1} \quad \sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$$

$$\boxed{2} \quad \sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$$

$$\boxed{3} \quad \cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$$

$$\boxed{4} \quad \cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$$



正接の加法定理

正弦，余弦の加法定理から，

$$\tan(\alpha + \beta) = \frac{\sin(\alpha + \beta)}{\cos(\alpha + \beta)}$$
$$=$$

$\cos \alpha \cos \beta \neq 0$ のとき，この式 of 分母，分子を $\cos \alpha \cos \beta$ で割ると，次の定理を導くことができる。

正接の加法定理

$$\tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan \alpha + \tan \beta}{1 - \tan \alpha \tan \beta}$$

正接の加法定理(続)

正接の加法定理で、 β を $-\beta$ に置き換えると、次の定理が得られる。

正接の加法定理

$$\tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta}$$

これは、

$$\begin{aligned}\tan(\alpha - \beta) &= \frac{\sin(\alpha - \beta)}{\cos(\alpha - \beta)} \\ &= \frac{\sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta}{\cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta}\end{aligned}$$

から導くこともできる。

2直線のなす角

例 2直線 $y = 2x$, $y = \frac{1}{3}x$

が x 軸の正の向きに対してなす角をそれぞれ, α , β とすると,
 $0 < \beta < \alpha < \pi$ であって, 2直線のなす角 θ は,

$$\theta = \alpha - \beta$$

ここで, $\tan \alpha =$, $\tan \beta =$
であるから,

$$\tan \theta =$$

したがって, $\theta =$ である.

